

	児童の実態	改善プラン	改善プランの評価方法
国語	①新出漢字を使った語句の理解が難しく、定着に課題のある児童がいる。 ②文章を書くことに苦手意識を感じている児童が多い。 ③文章を読んで考えをもつことが難しい児童がいる。また、自分の考えを発表する児童に偏りがある。	①漢字学習の取組の様子から、個別指導・全体指導を適宜行う。漢字を使ったゲームなど、楽しく学ぶことができるように指導方法を工夫する。 ②例を示したり、スモールステップにしたりすることで、書くことへの児童の抵抗感を軽減する。自分の考えや作文など、書く活動を意識的に取り入る。 ③授業の形態や発問を工夫し、自分の考えをもてるようにする。考えを伝え合う時間を確保する。	①日々の漢字小テストの結果で評価する。ノートや作文の記述から定着を見取る。 ②「書くこと」の単元で書いた作品や作文から、文章の書き方や内容について評価する。 ③児童のノートへの記述や、話合いの様子、発言内容から評価する。
社会	① 学習問題を解決するために、必要な情報を資料から読み取り、まとめる力は身に付いている。 ② 読み取った情報をもとに、自分の考えを表現する力が十分身に付いていない。	① 必要な情報を精選してまとめさせることで、分かりやすくまとめる力を高めていく。 ② 学習内容をまとめる際には、最後に必ず自分の考えを書かせるようにする。また、そのための時間を確保する。	①授業中の児童の発言の内容やノートの記述から評価する。 ②ノートの記述から評価する。
理科	①実験や観察に対して、課題意識をもって主体的に取り組んでいる。 ②予想や仮説を基に、解決の方法を考える力が身に付いていない児童が多くいる。 ③学習したことと日常生活を関連させて考えることが難しい。	①実験や観察の準備を計画的に行い、児童が作業をしたり考えたりする時間を増やす。 ②解決の方法を考える活動を繰り返すことで、条件制御の考え方を身に付けさせる。 ③具体物や映像を用意して、イメージしながら理解できるようにする。日常と結び付くような発問を意識して行う。	①実験、観察への取組の様子や、児童の振り返りから、主体的に取り組めたか評価する。 ②ノートの記述や話合いの様子から、科学的に思考することができたか評価する。 ③ノートの記述や発言の内容から、児童の気付きを見取る。
家庭	①裁縫などの実技に意欲的な児童が多いが、技能の差が大きい。 ②学んだことを日常の学校生活や家庭生活で活用する意欲が高い児童もいる。	① グループで教え合う時間を取ったり、得意な児童を教え役にしたすることで、全員が技能を身に付けられるようにする。 ② 単元の終わりに、学習したことを活用する機会を確保し、学校での学びを家庭生活に生かそうとする実践意欲をもたせる。	①児童の活動への取組の様子や、完成した作品で評価する。 ③ 児童の活動への取組の様子や、ワークシートへの記述、発表内容から見取る。

体育	①運動意欲が高い児童が多いが、一部運動に対して苦手意識がある児童がいる。 ②ゲームにおいて、チームの特徴に合った作戦やそのための練習方法の工夫を考え、伝え合う経験が乏しい。	①教材や場を工夫したり、自分に合っためあてを設定できるよう、言葉掛けを行ったりする。 ②チームカードを用いたり、作戦を立てる時間を十分に確保したりすることで、作戦の有用性に気付かせる。	①自分のめあてに沿った練習方法や場を選んで取り組む姿や、学習カードの記入内容から評価する。 ②チームカードの記入内容と、作戦タイムやゲームでの姿を評価する。
道徳	① 資料を通して感じた道徳的価値について、自分自身の経験を振り返って考えることが苦手である。	① 友達の経験を聞いたり、自分自身の経験を思い出したりできるよう、時間を十分に確保する。	①ワークシートに書かれている内容を見て評価する。
外国語	①外国語に対しては意欲的だが、難しいと感じている児童もいる。 ②簡単な英会話を聞き取る力は身に付いている児童が多い。 ③会話やゲームなどに意欲的に取り組む児童が多いが、消極的な児童もいる。	①年間指導計画・授業スタイルを確立し、児童が挑戦してみようと意欲的に取り組もうと思えるような活動を計画していく。 ②会話練習やゲームなどのアクティビティを通して、楽しみながら身に付けられるような指導を継続していく。 ③英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験できるようにする。	①会話練習やゲームなどに意欲的に参加をしているか、観察する。 ②単元の評価テストを通して、リスニングができているか評価する。 ③授業中にどのような考えをしているか、振り返りカードや発言などから評価する。
総合的な学習の時間	①課題解決やその方法を考える場面において、自分の考えをもってはいても、表現できない児童が多い。 ②単元の見通しをもちながら探究的な学習を進めることに慣れていない。	①自らの思いや願いの実現に向けて探究したくなる単元を開発し、児童が考え、判断し、実行できる授業づくりを進める。 ②随時スタートに立ち返り、ゴールを確認したり、振り返りの時間を十分に確保したりする。	①児童の表情や発言、振り返りの内容などが、単元導入時と比べて主体的になっているかを評価する。 ②振り返りの文章量が増えたり、次時に向けた内容になっていたりするか評価する。
特別活動	①1単位時間の学級会で、合意形成を図る進行の仕方に課題が見られる。 ②委員会活動や当番活動では、自分の役割を十分に自覚し、責任をもって仕事に取り組んでいる。	①学級会の計画を立てる時間を取り、司会グループと学級会の目的や流れを確認する。 ②互いの活動を紹介し、評価し合う時間を取る。	①時間内に、参加者が納得のいく結論を見出せたかを振り返らせ、評価する。 ②日常の当番、委員会活動への取組の様子を観察し、評価に生かす。